

根室振興局に要望

日本共産党の鈴木一彦、橋本竜一両根室市議と、中村忠別海町議、数間景子標津町議で構成する党根室管内議員団（団長：中村忠）は7月24日、北海道根室振興局に対し、地域の切実な要望をまとめた要望書を提出。その後、振興局の担当職員と懇談を行いました。



振興局職員に要望書を手渡す中村議員（右から2人目） 右端は数間議員、右から3人目が鈴木議員。写真は橋本議員が撮影

市議団ニュース

共にしあわせ産みだす日本共産党

第2111号

2024年8月4日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

要望は、管内共通として、1. 農業・酪農業の保護・育成について、2. 水産業対策について、3. 「北方領土」に関する問題について、4. 矢別演習場について、5. 教育について、6. 地域医療の確保について、7. 環境保全、安全な生活の確保について。また、根室市の要望項目として、1. 景勝地におけるトイレ等の施設整備について、2. 野付風連道立公園の木道や駐車場の整備、3. 通級指導教室への必要な教員の配置を行うこと、4. 桂木海岸における防波堤等の整備、5. 総合体育館の建設にあたって、備える防災や避難所の機能に対する財政支援、6. 太陽光発電所等に対する火災など災害対策の強化、7. 広域交通の維持確保対策の推進。以上を要望しました。

管内共通項目の5. 教育について、橋本議員は近年宿泊費や貸し切りバスの料金が値上がりし、義務教育の修学旅行では現行の配分標準単価を超す学校もあることから、実態に見合った単価設定および予算措置を求めました。

鈴木議員は、管内共通項目の6. 地域医療の確保について、市立根室病院が看護師不足により病床の一部を閉鎖している実態を示し、地域医療を守るために看護師はもちろん、薬剤師、助産師、医療技術者等の確保を図るための養成所の新設、道内における施設の定員枠を拡大することを求めました。看護師について振興局は、道立高等看護学院を取り巻く環境を見極めつつ、教育効果の検証も行い、必要な見直しを行いながら、地域における看護職員の確保に向けて、効果的、効率的な運営に努めていくとの回答を示しました。

7月25日午後7時、市役所2階防災研修室において、根室市議会報告会が開かれました。参加者は31名でした。

報告会は3部制で、第1部が総務経済および文教厚生常任委員会と北方領土・水産対策特別委員会の活動報告、第2部が議会改革の取り組みとして議会運営委員会とICT推進委員会の報告、第3部で意見交換が行われました。

参加者からは防災・減災対策や漁業、観光などのほか、中心市街地に空き地が増えていく現状に対する議会の見解を問うなど、多彩な意見、質問などが出されました。



議会報告会開かれる